



No. 5

埼玉県白岡市

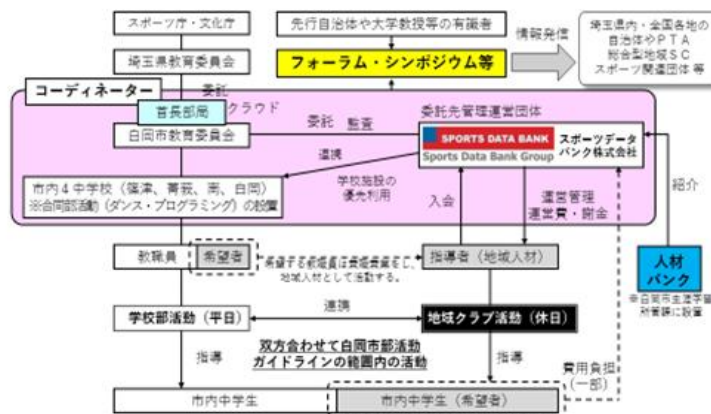
I. 基本情報

運営主体： 白岡市教育委員会

事業目標： 持続可能で多様な部活動と、中学校教職員の働き方改革の推進

団体・組織等の連携

地域クラブ活動の設置イメージ図（R4）



主な活動種別

吹奏楽、プログラミング

運営形態（ア）

地域移行

< 地域団体・人材活用型 >

活動場所

- ・生涯学習センター
こもれびの森
- ・白岡市コミュニティセンター
- ・白岡市保健福祉総合センター
（はびすしらおか）

※ 施設使用料 免除

鍵、校舎管理の工夫・現状等
（活動場所が学校の場合）

学校以外の施設を利用

参加生徒の基本情報

人数： 市内全ての中学校
活動日： 土日・祝日 3 時間

指導者の基本情報

吹奏楽
日本吹奏楽指導者協会所属
4 名 3, 5 0 0 円/時間

プログラミング
Ed Tech 企業の社員
1 名 2, 0 0 0 円/時間

指導者の募集方法

委託先により選定、配置

活動財源

会費 0 円
文化庁事業委託費 27 万円

II. 活動概要

合同プログラミング部

市内全中学校から、希望者が参加。指導者はEd Tech 企業の社員。G I G A スクール端末を活用し、生徒のニーズに応じた活動を行っている。学校の垣根を越えた生徒同士の交流が実現している。



合同吹奏楽部

市内全中学校から、希望者が参加。トランペット、ユーフォチューバ、ホルン、サクソスにおいて各 3 回ずつ実施。少人数指導により技量が向上している。



III. 成果・課題

本事業による成果

合同吹奏楽部の活動を通して、練習方法や技能を生徒が身に付けることができた。得た知識や技能は、通常の部活動の練習に生かすことで、他の生徒への練習にも生かされ、教員の指導負担を減らすことができた。

休日の活動が地域クラブ活動となったことで、他校の生徒とのつながりが生まれ、互いの平日の部活動の様子を知るとともに、良い練習方法を共有することができた。

指導、運営上の工夫

用具（楽器、タブレット端末）については、学校の備品である楽器やiPadを使用できるよう学校に依頼した。

コーディネーターを各校 1 名ずつ配置し、学校と委託先、教育委員会との調整を行っている。

活動場所については、市の施設を利用し、減免申請を行うことで、使用料は免除となっている。

活動支援・事業運営のため、アプリ（B A N D）を活用し、出欠連絡や活動状況の報告を行っている。

見えてきた課題 今後に向けた方針・方向性

人材確保のために教育委員会、地域、団体等の連携を図ることが必要である。

会費徴収に関して、保護者・学校等の理解を得るために、今後どのような周知を行うかが重要である。額については、月1,500円が妥当かアンケートを活用し、保護者の実態把握に努める。

令和 5 年度においては、吹奏楽、プログラミングの他、合同合唱部を立ち上げ、さらなる地域クラブ活動の推進を図っていく。また、生徒・教員・保護者に対し、希望する文化クラブ活動についてのアンケートを実施し、新規クラブの設置についても検討していきたい。